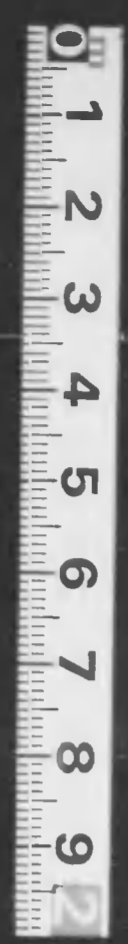
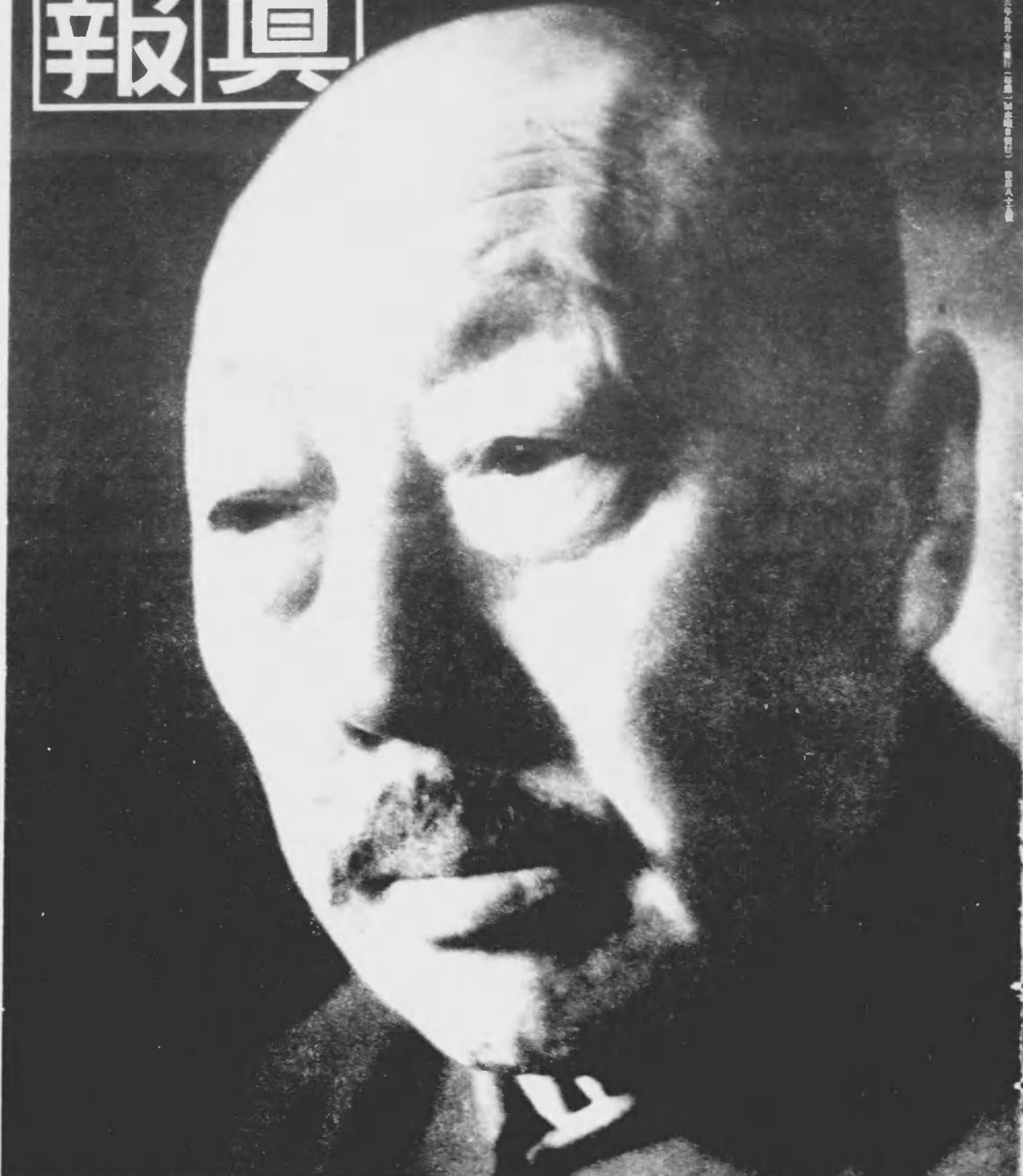


寫眞週報

情報局編輯  
九月十日 第八百五十八號

昭和二十一年九月十日 第三千八百五十八號 (情報局編輯) 第八百五十八號





↑ 柳條湖事件の翌日即ち昭和六年九月十九日、日軍は早く奉天城を占領、敵に猛烈な射撃を浴びせる。撮影 満洲事情案内所

↓ 龍圖宮廟に眠る英靈に「捧げ鏡」の禮を捧げる満洲國軍。撮影 満洲事情案内所

## 満洲事亦々満十年の後

デンマークの承認をもって十五ヶ国から承認された満洲國は、東亞共榮圏の重要な一環として政治に、産業に、文化にその基礎を固め、今や日華と密接な聯繫の下に各賞共に世界の満洲國へと飛躍し、建國未だ日淺いに拘らず隆々たる發展の様は實にめざましいものがある。

昭和六年全く英米の傀儡と置いた張政權に鐵錘を下した柳條湖の銃聲以來、来る九月十八日は丁度滿十年を數へることになる。よく十年一昔といふが、滿洲國が成長してきたこの十年間には實にいろ／＼と歴史的な事件が勃發して世界地圖を次から次へと塗りかへ、優に一世紀を壓縮した程の目まぐるしさである。

↑ 柳條湖事件の翌日即ち昭和六年九月十九日、日軍は早く奉天城を占領、敵に猛烈な射撃を浴びせる。撮影 満洲事情案内所

↓ 龍圖宮廟に眠る英靈に「捧げ鏡」の禮を捧げる満洲國軍。撮影 満洲事情案内所

つた。この意味からいへば滿洲國は建國以來一世紀を経過したといつてもいいわけで、世界動亂のうちに試練をうけた滿洲國が建國日なほ淺い割りに飛躍的な發展を遂げたこともうなづけることである。思へば英米が世界に振ふ専横的な舊秩序に對して敢然と立つて東亞に新秩序建設ののろしを上げ、延いて獨伊を中心として歐洲新秩序建設への導火線となつたものは實にこの滿洲事變であつた。

今こそわれ／＼は滿洲の廣野に尊き血を流した先驅者の英靈に感謝を捧げるとともに世界情勢の變遷に處して三國同盟を強化しつゝ、この先驅者によつて時かれた新秩序の芽を養つて育て上げねばならない。



# 錠劑 わかもと

## 病腸胃の場職

### 殘

業や夜業などで不規則な生活が續きますと、次第に胃腸の機能が衰へて、胃下垂や胃アトニー、胃腸カタル等に侵されやすく、體力の消耗から結核性疾患を誘發する場合が尠くありません。

### 胃腸を賦活

わかもとは人體に同化吸収され易いビタミンB複合體を始め、單一酵母劑に殆んどない強力な三消化酵素、アミラーゼ、ペプターゼ、リパーゼを豊富に含み、獨特の細胞賦活作用を發現して、胃腸の組織細胞に活力を與へ、その機能を全面的に更生強化し、胃腸障礙を防止するばかりでなく、旺盛な食欲を喚起して體榮養を著しく充實し、疲労を速かに解消しますから働く人の保健に缺かせぬ藥劑です。



一日 二十五日量  
 一圓六十錢  
 地方により協定價格販賣

東京・大阪・京都・神戶・名古屋・仙台・青森・函館・北九州

後の年十滿變事洲滿



カントは満洲國軍

灼熱する製鋼工場

無統制な資本主義的  
な運営ではいかぬ、満  
洲國は經濟統制の根本  
方針に基いて重要産業  
の統制法を施行して各  
種産業を國營、公營ま  
たは特許による事業、  
許可、認可による事業  
自由に企業できる事業  
に大別して強力な國家  
權力を發動して産業發  
達の健全迅速をはかつ  
てゐる。すなはち兵器、  
航空機、自動車の製造  
や液體燃料の製造、鐵  
アルミニウム、鉛  
亜鉛、金、銀、銅の製  
煉、炭礦業など重工業  
部門の活潑な生産が續  
けられてゐる

遅れない沃土を拓く

さすがに満洲國は農  
業國だけあつて一四三  
六萬町歩の既耕地と一  
六八〇萬町歩の廣大な  
可耕未墾地を持つてゐ  
る。したがつて輸出も  
全輸出總額の七割は農  
業特産品である  
何んといつても耕地  
は内地などと違つて一  
昨千里の曠野で農耕は  
全て大農式にトラクタ  
ーを駆馳して行つてゐ

曠野に咲く移民の乙女

昭和七年第一回の武  
裝移民が送られてから  
早くも九年、明年は滿  
洲開拓十周年を迎へよ  
うとしてゐる。その間  
昭和十三年には日滿兩  
國の國策として所謂百  
萬戸移民計畫が開始さ  
れ、また同十三年には  
滿蒙開拓青少年義勇軍  
の制度が創設される等  
あらゆる困難な事情に  
も拘らず滿洲開拓の大  
事業は著々と進んでき  
た

潑刺と伸びる國民學校兒童

滿洲國の教育方針は建  
國精神の徹底をはかる  
ことを日滿一徳一心不  
可分の關係と民族協和  
の精神を體得させると  
ころに置かれてゐる  
康徳五年に改編され  
た學制によると初等教  
育は國民學校及び國民  
優級學校、中等教育は  
國民高等學校及び高等  
教育は大學校と三段階  
に分けられ、その他に  
師道教育と職業教育の  
二部門からなつてゐて  
國民學校から大學まで  
の修業年限は十三年或  
は十四年とされてゐる  
撮影 國際報道工畫



# 海と校学民国

吹きそめる秋風と共に、楽しかった夏の鍛錬期間が終了しました。皆さんは先生方の指導に従ひ、お父さんお母さんのいっつけをよく守つて、愉快な、また有益な鍛錬期間を過ごされたことと思ひます。これは海の子静岡伊東町東国民学校高等科の生徒たちがこの夏にのこした頼もしい夏の鍛錬風景です。

国民学校高等科では、学校のある土地の様子により、實業科の中に水産といふ科をおいて水産物やそれから製造するものなどについて指導をし、将来水産業に従事する子供達にそのもととなる訓練を與へるわけでありませんが、なほ、これによつて海國日本の國民として大いに伸びて行くもつとをつくることを大きな目的としてゐます。日本人が伸びて行くの

には、どうしても海によらなければならぬのは申すまでもありません。それについては、まづ海に親しみをもち、海をよく知るといふことが大切なのであります。

水産の時間に扱ふのは、海のものをとること、ふやすこと、いろいろ加工をすることが主なものであります。ただ単に子供達にからうしたことの方法を話さむだけであつてはなりません。實地に作業をさせながら、その間に初等科から理科や算数で養つて来た知識や物の見方、考へ方を一層發展させるやうに指導しなければなりません。かうしてこそ、水産物の利用の上に新しい方法を自分で考へ出してゆくやうになるのです。

魚をとるにしても、魚はどういふところに集るものかを知らねばなりません。さうして、とる魚の性質を知つて、網とか釣の道具とかを遊ぶやうに導きます。また網一つはるにしても、その土地の潮の様子、魚の泳ぎ方やその他の習性をしらべてはるべきかを考へ出すやうに指導したいものです。この他、水産物の減ることを防ぐために保護をしたり、養殖をしたり、また、とれたものを我々の生活に最もよく利用するために加工したりする場合にも、すべて科學的な考へ方を育ててゆくやうに指導することが大切です。

このためには、實際に船に乗組んで沖合遠くに出掛けることも、全身潮にぬれて磯で作業することもありません。その間に、どんな困難にも負けない強い精神や他人と力をあはせることの躰も養はれ、自分達の仕事は日本の富を増し、日本人の食料の確保に役立つのであるといふ喜びや誇りが感じられるでせう。かうした精神と誇りを持つた子供こそ、他日無敵の海の護りを荷ふことも、世界の海に雄飛することもできるのであります。



今日のかじめの採集です。はじめは最近はお魚に加工して副食物として喜ばれてゐますが漁師に忙しい漁師は採集に手のまはりかねてゐたものでゆきます。

文部省図書局 永田 義夫

大津原に乗出した生徒たちは、腰釣りに雄大な海の鍛錬場を突でゐます。おい、我は海の子



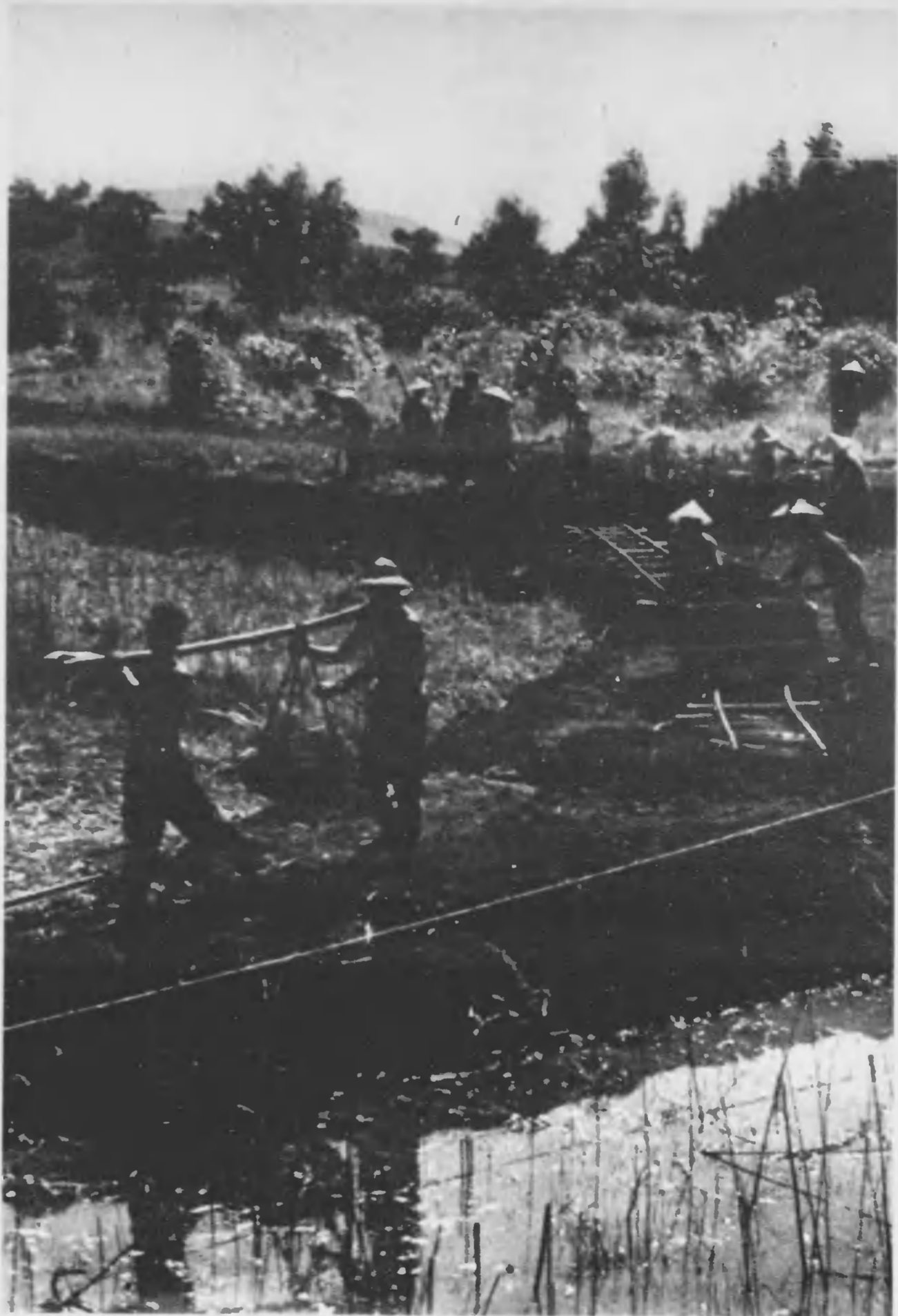
〇 既蒸に日焼けした皮膚の色は、本来の海の尖兵を約束してくれる朝母しさです。朝早くから網の整理に一生懸命

〇 男子生徒が採集したかじめを女生徒は手から手へとホイ／＼運んでゆきます。みんな力を協せて食糧増産に一役をかつてゐる嬉しさ

撮影 長田義雄

# 自然の光によつて

福井市 司法保護 飛鳥農園



九月十三日は司法保護記念日です  
 司法保護は不幸にして一塵罪を犯した者を保護善導して正しい日本國民にたちかへらせることを目的とするものです  
 國家は罪を犯した者に對してはその過を改めさせるために刑罰をもつて臨んでみますが、これらの犯罪者のなかには刑罰をもつてしても十分に教化できない者、また刑罰によつて社会的な地位や名譽を失ひ再び社會生活を営むために大きな痛手を負ふ者などが尠くなく、これらの不幸な人々をそのまゝ放置しておいたのでは正しく明るい國家社會をうちたてることはできません。こゝに刑罰制度と並んで司法保護の必要があるわけです  
 現在司法保護を必要とする刑罰者の數は全國で六十萬に上り、政府の機關だけでこれを保護善導するといふことは困難です。そこで政府ではこれに對する民間の協力を求め囑託保護司、司法保護委員、司法保護關係者等の民間篤志家がこの實務を委嘱してゐます。これらの民間篤志家たちの司法保護に對する犠牲的、献身的奉仕の記録はわが司法保護史上に燦として光彩を放つてゐますがそれはまたそのまゝ刑罰者たちの更生の記録でもあるのです  
 福井市吉野上町にある司法保護團體財団法人福井縣福田會の温い保護の手に一切の身柄を委ねて輝く更生への歩みをつゞける刑罰者三十五名 彼等はいま同會經營の飛鳥農園に初秋の陽光を體一杯に浴びながら戦時食糧増産の畝を振つて過去の償ひをはたし新しい更生の生活へ發足しようとしてゐます  
 犯罪者とはいへ同じ日本國民の一人です。しかも彼等は更生への決意も固く明るい社會へ出た希望の人たちです。温い同胞愛の精神をもつて導くとき、陛下の赤子としてのまごころに目ざめぬ者があるでしょうか  
 いまや戦時體制下のわが國ではたとへ一人でも戦列を離れてゐる者があつてはならない筈です。不幸な刑罰者たちを心から勞つて一日も早く正しい日本國民にたちかへらせることを私たち同胞の義務でなければなりません



↑ エンヤレ／＼とトロを押す者、ドッコイ／＼とモッコをかつく者、種された圃地の埋立ももう一息です

↑ 振ふ利鐘に玉蜀黍の葉すれもさやかです。飛鳥農園に豊かな收穫の日がきました

↑ 牛舎で牛が啼く、明るい雨の日、清濁の音にしづかな魂の世界を見出しながら竹籠をつくる人たち



↓ 收穫時の農園へ小休止の兵隊さんが遊びにきました。南瓜も枝豆も立派に實つて明日は兵舎へ車に積まれて運ばれます

撮影 杉山吉良



# 日本の土 2 北海道



北海道札幌郡江別町篠津第一農事実行組合の部落はいまでこそ日本最初の『大家族主義部落』として食糧増産の意気込みも頼母しく合道注視の的となつてゐるが、この組合ができた当初は部落内の土地二百餘町歩まで植物質が堆積分解してでき上つた泥炭地であつたため耕作に不適當で、働けど收穫は上らず三萬圓の借材を負つて部落はまさに潰滅に瀕してゐた。この敗戦の部落から立ち上つて『農事実行組合』の一つの家庭として更生しよう』と奮起したのが現在まで組合長を勤めてゐる棚橋彌平氏であつた。その後八年、決死の更生運動がやうやくにして奏効して一昨年三萬圓の借財も消却された時『我々の眞の出発はこれからだ、組合即家庭の力強いシンボルを作らう』といふ村人の聲で常會の席上から生れたのが現在部落内三ヶ所の電柱にぶらさがつてゐる長さ三尺位の古レールである。この古レールは更生の鐘と名付けられ部落民がはる／＼これを叩いて勤勞開始の時を告げ廻るのに用ひられてゐる。



撮影 阿部通信社 茂尾 達雄

## 九

月十八日は昭和六年のこの日滿洲事變が勃發してからちやうど十年にあたる。十年一昔といふが、今の滿洲國ぐるこの意味をはつきり現はしてゐるところは他には先づなからう。

十年前の滿洲の有様を一寸回想して見ると全く今日の感に打たれる。鴨綠江を渡つて安東縣に足を踏み入れると忽ち氣分が變る。安奉線は山嶺地帯を縫つて走つてゐるため毎夜馬賊の襲撃があつた。それと戦つてゐる獨立守備隊の機道整備も一方ならぬ苦勞があつた。今夜は何處に出るだらうかと慎重に状況を判断して手配をする。潜伏斥候や、遊撃斥候が夜になるとこつそり戰場所へ着いて馬賊の出るのを今かく／＼と固唾を呑んで待ち伏せる。コツノ／＼来たなと思つて飛び出して見ると、驚愕らんや、平だつたといつたやうな笑ひ話もある。

先づ一齊射撃で威嚇して邸内に侵入して来た。ところが當夜は五名のわが守備兵が戦死したから驚いたことであらう。屍體一つを奪つて逃げ上つた。これは思ひ出の一端に過ぎないが、當時の空気が察せられることと思ふ。それから十年の月日は流れた。今は全く平和地となつてしまつた。春先の南路には夜店が並び、浴衣がけでラックこともできぬ。

**銘記せよ!**

**滿洲事変**

だと思ふ。實にこの滿洲事變こそは磨れ切つた二十世紀の世界文明の再建設の火蓋を切つたものである。日本は何等滿洲を自己の欲望を満たすために侵略的野望をしたものではない。わが帝國の大精神である各民族が各、その天賦の能力を十分に發揮できるように指導されてゐるのが滿洲國であつて、世界各國の人は一度是非わが帝國の大

陸軍の資用を見てから論ずることにならなければならない。少くとも東亞の諸民族は東亞建設の黎明を迎へた滿洲國を知ることが必要である。滿洲事變は支那事變によつて解決せられた。『東北失地を恢復せよ』と叫んで抗日政策に徹底した蔣介石は、滿洲事變が起つてから一意専心支那の再建に努力を傾注しつゝあつた。ために支那の東部、經濟も漸次舊態を改めることができた。しかしその精神が悪かつた。わが皇國の眞意を解せず滿洲國發展の現實に眼を覆うて

る。思へば蔣の罪定に重い哉である。支那事變に對する帝國の處理方針は滿洲國の建設精神と軌を一にして二ではない。即ち抗日政權の實現を行ふ一方に新興支那政權を育成しつゝある。新興南京政府が滿洲國政府のやうに名實共に備はるるのも遠くはないであらう。國民政府によつて滿洲國は既に承認された。滿洲事變は一應の解決を見たが、支那事變は未だ解決されてはゐらない。この支那事變なるものの本質は滿洲事變と全く軌を一にするが、たゞしかし規模が更に世界的になつてゐるところに解決の困難がありそれだけ重大性がある。

昭和六年九月十八日、奉天郊外柳條溝の一發から起つた戦ひが今日まで既に十年戦ひ続けられた。大陸十年戦争の歴史が書き上げられた。北はソ滿國境から南は佛印まで戦線正に二千五百里、日本男子としてこんな活躍した時代は今までにはなかつた。躍進日本の姿である。われ／＼はこの誇を胸に持ち、自強息まず、一歩々々堅實に進むことがわれ等の使命であると考へる。

竹田光次

# ゆきるな時満洲



長官... 武 富 男

## 満洲の民族と自然

深きものがあるのである。満洲の民族と自然。その一つ、満洲といふ言葉はどこから来たかといへば、ラマ教では文殊菩薩を満洲といひ、文殊菩薩を満洲といひつてゐた。清の太祖は日頃信仰する文殊菩薩の名を「滿住」とつて、

國號として、『住』を「洲」にかへて、『滿洲』といつたのだといふことである。だから満洲といふ名は結局佛教から来たものである。それは、清の時代には蒙古人を可愛かつたものゝあつたが、今から二百年ほど前に、漢民族が北方から入つて来た。及んで、漢民族との間に争が起つた。しかし結局は漢民族に勝つた。漢民族に入り込まれた蒙古人は、土地は自分のものだが、一時漢民族に貸してやつたつもりで彼等に農耕をさせ、年貢を取つた。近年まで彼等は、土地は俺のもの、漢民族に耕させてゐるのだといふ考へをもち、だからこの二つの民族の抗争を解決することは非常にむづかしかつた。

まづ一方、この漢民族が南から入つて来た頃、モンゴル人が東部の江附近から満洲を占めて、東部の島の遼河問題で支那に恩を賣り、或は北滿洲に兵隊を満洲に駐屯して、だんくなく南下して日露戦争の直接の原因となつたことなどは、皆様のご承知の通りである。

日露戦争の結果、日本人が満洲の地に入つた。このやうに建國前の満洲の歴史を見ると、種々の民族が入つて来て、お互ひに争ひつたのである。この事を千分知つては、いかに、知らぬが満洲は初めから漢民族の國たつたのだと思ひ込むのである。日本のイデオロギの中にも、満洲は國高、漢民族を以て侵略の如く考へてゐる者もあつた。しかし、清の歴史を知れば、満洲は決して漢民族の國たつたのだといふのである。日、漢、蒙、鮮等の諸民族が建國した國である。

今でも大連から、満洲里まで旅行すれば判るやうに、この間二キロに亘つてロシア人の建てた家や點々としてゐる。これを見ても當時のロシアが如何に根強く勢力を張つてゐたかといふことがよく判る。日本人も入つて来たけれど、満洲は日本人のものとなり、今頃はこれらの諸民族ははたつたつてゐたか實に考へた。

## 満洲事變は天意

此の地の民族闘争を如何にして解決するかといふことは、天意であつたのである。即ち昭和六年九月十八日の満洲事變は、この天意であつたのである。翌年の三月一日には滿洲國が建てられ、日滿一體一心の民族協和を國是として確かしい建國が行はれたのである。これをいひかへると日本民族が中心となり、指導民族となり、八紘一宇の皇道精神に則つて、今までの仲の悪かつた他の諸民族を導いてやらなければならなかつたのである。ちやうど兄弟を愛し導くかのやうに。

もう一つ満洲が生れて来なければならなかつた理由がある。それは滿洲の土地即ち自然が與へた資源である。滿洲の河を見ても判るやうに、水は一年中流つてゐる。山には樹木は殆んど無いといつてもよいほどに

## 満洲建國の大理想

このやうにわれ／＼は土地の建て直は機械も使用しないのであるから、今後は滿洲工業の發達と共に、化學肥料の利用を考へ、また一方農具の改良を計り、或ひは機械化農業を奨励すれば大丈夫であるといふのが農業専門家の話である。

以上のやうに、この國を物質的に見ると、恐ろしく資源豊富な國であり、精神的に見ると、最も高い理想を持つた國である。

梅檀は双葉より香しいといふ。將來偉くなる人は子供の時から運ぶ精神も肉體も優れた人にして初めて偉くなるのである。満洲國はまだ子供だが、將來必ず偉くなる子供である。年と共に立派な國になるのである。未だ建國十周年を見ないから大いなる建設はできないが、徐々に力強く進んでゐることはまことに喜ばしいことである。大建設ができ、或ひは大事業ができぬといつて、とかく批評する人があり、甚だしきは滿洲は過去の國で、今日は南方だ、南方だといふ人もあるといふことであるが、それは間違ひである。もちろん、南方も必要であり、結構であるが、南の國、暖き南國に八紘一宇の花が満開と咲いたとき、北風の嵐が吹くやうなことがあつたら大變である。

即ち日本を盟主とする東亞共榮圈の確立が重要であれば重要であるほど、わが滿洲國はいよ／＼かたく北の鐵壁の守りとして發展しなければならぬ。

## 東亞共榮圈と滿洲



昨年、再度御訪日の上、日本紀元二千六百年の慶典を慶祝せられると共に、御勅から伊勢皇大神宮に参宮し給ひ、御書の後、建國神廟を立て、大御を奉祀し給ふたのである。

しをせると共に、今まで自然に對する愛の足りなかつた諸民族を救へ、直して優秀な國民を創り上げ、民族の再創造を行ふことが、滿洲建國の意義である。

さてこの國の建國の理想たる民族協和は、果してわれ／＼が考へてゐるやうにできるかどうか。まづできるとしてもその方法はどうかといふことは、最も重大なる問題である。もちろん、この問題については、色々と論議があるであらう。しかし、少くとも私は民族協和の意義として、日本の二千六百年の歴史がこれを證明してゐるといひたい。日本は諸民族を協和して世界に類例なき國たつた。民族を創り上げた事實は、滿洲においても將來必ず民族協和の成功することを希望するものであると願つた。

よく日本精神といふが、日本精神の眞髓は、皇道精神にある。皇道精神といふのは、皇室を尊ぶ／＼の民族を、親の子をいづくしむがやうに、おいつくしむにあり、これを包摂同化して皇室のまはりを取巻くことの一國民とされたとこのの有様こそその眞髓、大御心をいふのである。

「東亞共榮圈」をこゝにわけはしまつるは、わがものを拂ひ平ける／＼と日本の古典に書いてある。即ち天孫降臨、神武天皇御東征の時、かゝいふやり方をなされたのである。滿洲建國の時もこれと同じやり方である。長くも滿洲國建國下には、皇に

「皇國國民」を創り出さうと、天皇陛下の大御心を皇座陛下の御心とせられ、滿洲國を御治めになるのであつて、天皇陛下の有様大御心を皇座陛下によつて諸民族に注ぎ、民族協和が行はれて行くのである。そしてその「源」を得ると、日本帝國の建國の大精神にさかのぼるのである。

それ故に、わが皇座陛下には、歩調も正しく、教練にはけむ滿洲國軍

「皇國國民」を創り出さうと、天皇陛下の大御心を皇座陛下の御心とせられ、滿洲國を御治めになるのであつて、天皇陛下の有様大御心を皇座陛下によつて諸民族に注ぎ、民族協和が行はれて行くのである。そしてその「源」を得ると、日本帝國の建國の大精神にさかのぼるのである。

それ故に、わが皇座陛下には、歩調も正しく、教練にはけむ滿洲國軍

事實を以て證明してゐるのである。この事實は何よりも力強く證明であり、また、滿洲國としては、この事實を他の共榮圈内の友邦諸國に示すことこそ、わが國の大いなる使命であらうと思ふのである。

次に共榮圈の一環としての滿洲國の使命は、何といつてもこの國の資源である。曾て滿洲の資源といへば、撫順の石炭、鞍山の鐵、本溪湖の鐵、石炭といふふに考へられるが、今日では阜新、北票、密山、西安、龍崗、朝鮮、チャライ、イム、東遼道の二道溝、三道溝の石炭、東遼道の火燧子、七道溝の鐵、揚家杖子の鉛、亞鉛、タンクステン、モリブデン、蓋平のアルミニウム、大石橋のマグネシウム、阜新の石油といふ具合に、様々の礦物資源が發見され、これを開發する時は日本及び滿洲の需要を充たし得て餘りあるといふ事實である。

次に農産物としての滿洲、これはまづ世界に見る肥沃な土地を持つてゐる。わが國の農産物増産計画は、十年五千万トンの糧穀を産出する目標を建てた。五千万トンといふは五億石であり、日滿支三國の需要の一分である。現在の産額は一億石に過ぎないが、十年後に三倍になるわけであるが、果してできるかといふことは、必ずできるのである。それは從來の滿洲の農業は、粗業農業であつて、肥料も用ひなければ

灌溉されてゐる。例へば今から百年前は遼河には樹木が繁茂と茂つてゐたといふのであるが、今日の熱河の山々は荒山となり、大きな製材ができ、岩は露出してゐる。ちやうど人間が骨が出てくるやうに。自然も荒すと岩が出て用を足さなくなる。山に木が無く、河には岩や石が露はれ、河に泥が流れるのは自然の荒れる姿である。このやうな状態を放任しておけば、この土地には人間が住めなくなつてしまふ。こゝにもわれわれ日本人がこの國に入つて来なければならぬ天意があつたのである。

われ／＼日本人は悠々の昔から自然を愛し、はく／＼、麗しい國土を作つてきた。日本民族が、この滿洲にやつて来て、他の民族を指導し、滿洲の自然の地を直してやらなければならぬのである。これがためには、われわれ日本人は、こゝへ木を植ゑたら水が湧き出なくなるか、何處にダムを造つたら洪水が出なくなるか、どの河の水をどう導いて土地を潤すかといふこと、即ち治水水利を機械的に考へ、滿洲の土地を人間の力でもう一度作りかへ、これを豊にするものにするには、天地人合作の大いなる創造である。









# 南支那海を圧す

南支那海の海面を壓するわが船團を護衛しつゝ、わが海軍の雄略は輝きわたる途に南支那方面艦隊司令部

人老と勞皆民國 ↑  
たしまし力協に謀防も無章 →

明かな轉向  
名古屋 西村ひとし

読者の回

慢自約 ↓  
湯鏡策圖 ↓

お金の貯蓄

政吉川細

## 寫眞週報問答

〔問〕 低物價政策に協力して難貨荒物などを公認より割引して販賣してありますが、組合では割引されては組合一同の迷惑になるから除名決議して配給を止める」と役員がおどしにきました。私はあくまで割引で商業報國を続けるつもりですが實際に除名されませうか

〔答〕 公認は何れもこれ以上高い値段で賣つてはならぬといふはゆる最高價格で、従来よく同業者の組合などが守つてきた投資防止のための値段の協定とはまったく意味が違ふのです。だから仕入値段が安いとかそれとなく勉強して組合以下で販賣することこそ低物價の上から言つて好ましいことですから、組合の役員によく話し、若しをかたければ彼所へ話をして適當の方法を講じて貰ふと申しましたらよろしいでせう。除名して配給を止めるなどいふことは筋違ひな話です

〔問〕 蘭印、佛印、タイ、ピルマの各地で通用してゐる言語をお教へ下さい

〔答〕 蘭印の通用語はオランダ

## 説解項要法禮

(下閣親義川徳 爵侯長會) 著會究研法禮  
錢十五圓二 價定  
〇〇〇〇三京車馬指  
八五四一四九話電 會協育教年青國皇 院九・司馬・京東

〔問〕 乗馬の練習をやりたいと思ひます。馬の取扱ひ方、乗馬法のような圖書を

〔答〕 遊佐馬術(遊佐幸平著)  
〔東京日本橋區通一丁目エンバヤビル 羽田書店 定価二圓〕  
女馬と馬術(後藤甲子郎著)  
〔四谷本村町九 精華洋行計 定価二圓〕  
☆騎手教程草案(三宅隆人編)  
〔芝公園四丁目二 帝國騎馬協會 昭和八年 非売品〕

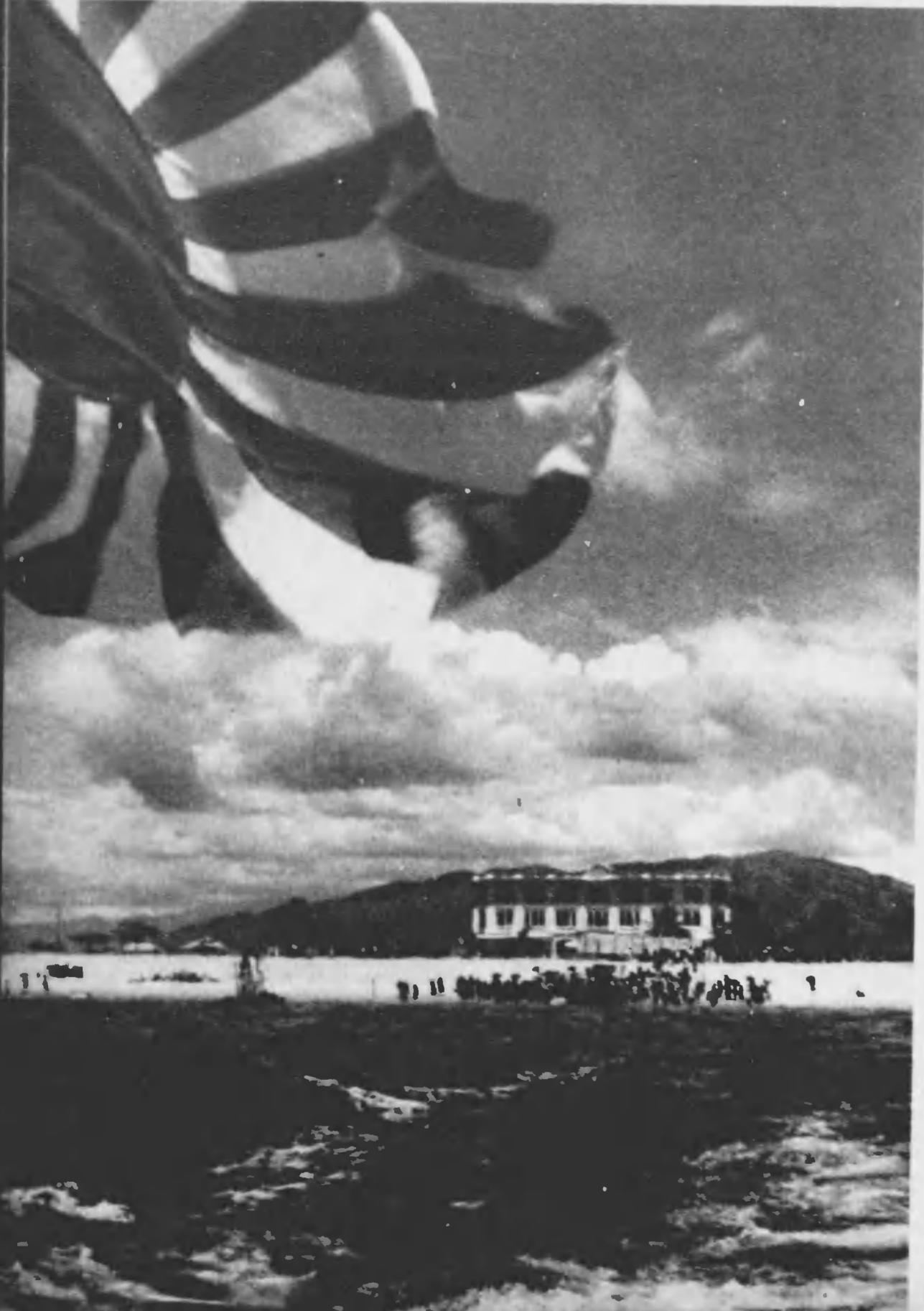
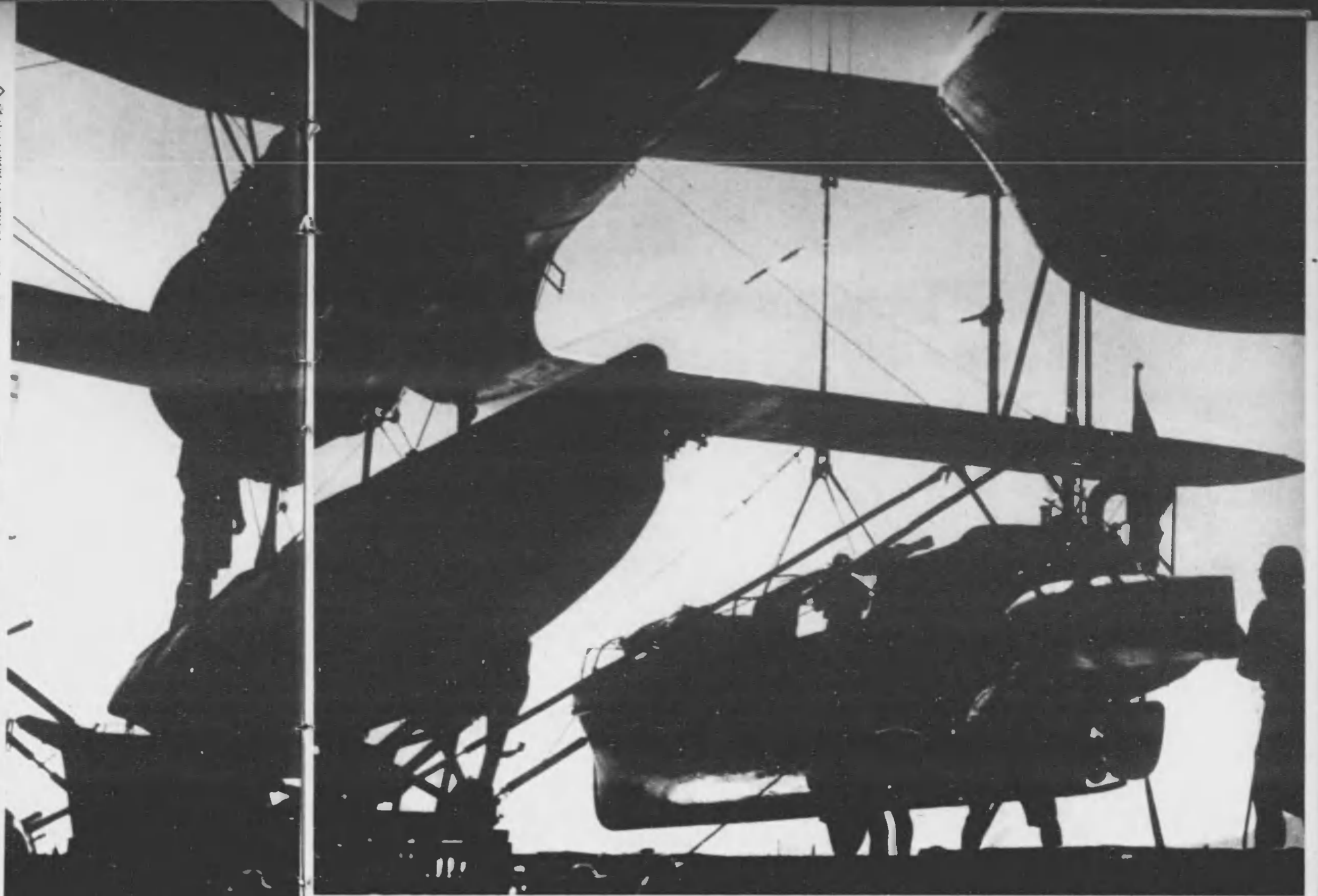
# 南支那海を圧す

カムラン灣から北へ六十キロ、ナトラン灣がある。カムラン灣には貴重な漁村しかないがナトランは立派な市で先遣部隊本部もここに置かれた。正面の建物が部隊本部

日佛印共同防衛の重い任務を帯びてわが陸海軍部隊がサイゴン方面に進駐したとき、わが艦隊の一部はこれと殆んど時を同じうして南佛印の要港カムラン灣にその勇姿を現はしたのであつた。カムラン灣は南支那海を距て、フィリピン及び蘭印を眺む要地であり、水深は深く、丘陵に囲まれ、港外では南支那海の怒濤が山のやうに逆捲いてゐても灣内に一歩入れば湖面のやうな静けさで、優に數個の大艦隊を容れるに足る全く天然の良港である。かつて明治三十八年四月北上中のパルチック艦隊が約十日間ここに碇泊して水や石炭の補給をうけたことはわれらに忘れることのできない記憶である。

この熱帯の港に鑑を投げてから既に二ヶ月餘、わが海の勇士は酷暑を物とせず困苦にめげず、士氣愈々旺盛、任務の達成に勵んでゐるが、基地を出港以來、遠くこの地に進駐を了るまで如何なる苦心を重ねつゝ、堂々帝國海軍の威力を發揮したかこゝに掲げるものはその間の貴重な記録である。

艦上には艦載水上機が翼を張つて待機してゐる。炎天下にけつく甲板に勤務の勇士の眼に佛印の山が遙かに見える。カムラン灣はもうちきだ



艦隊の先頭に立つて、浮沈機雷を警戒しつつ、南支那海を南下してきた掃海艇も今や波静かなカムラン灣到着、曳いできた防雷具は引き上げられる。カムラン灣の一部は連日なつてわが海軍水上偵察機の格好の基地となつてゐる。除らしさらに見物の安南土民



# 援蔣物資の移管



ハノイ、ハイフォン間のソンコイ河畔に集積された援蔣物資の山。穀類、布類、医薬品、食料、被服、雑貨など軍需物資で河畔は埋まっております。

今までは佛印當局によつて保管されてきた援蔣物資はわが先陸軍の倉庫へ移された。

上海中法藥房經由ハイフォンから重慶へ送られる援蔣物資。重慶向けとはつきり記された文字が何よりの證據。

## 佛印ハイオン

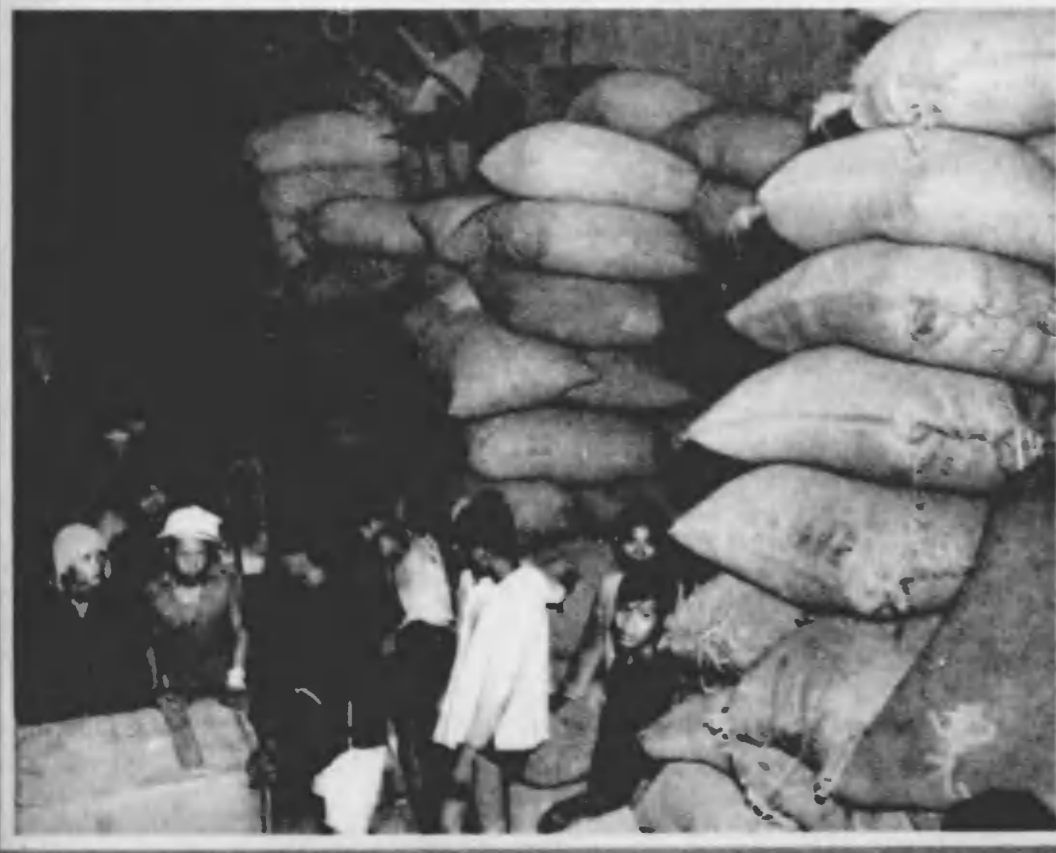
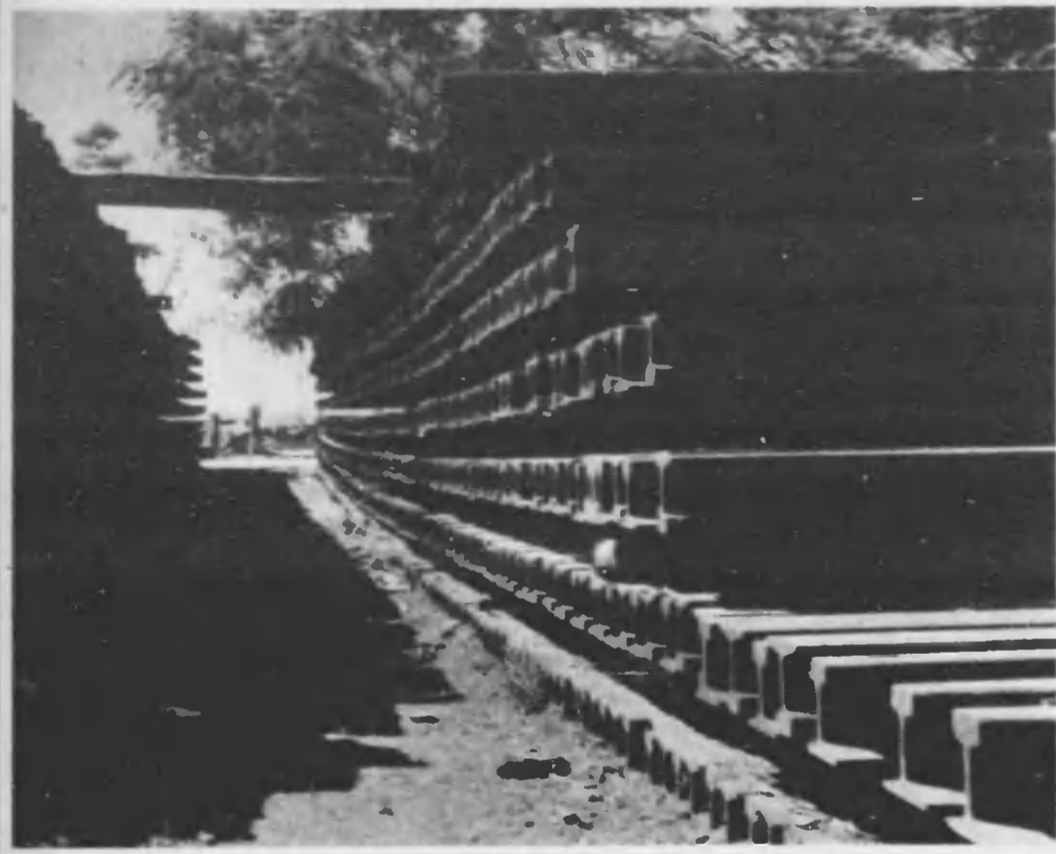
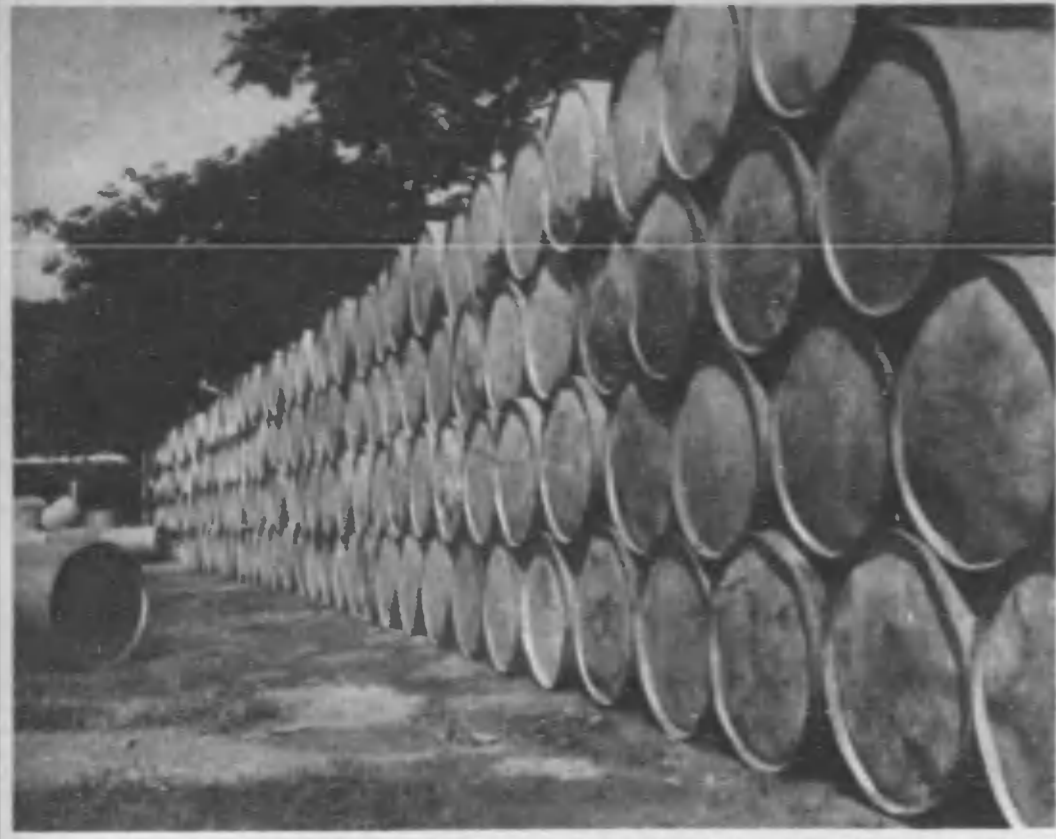


飛行機は数へる程しかなくとも、自動車に工業用にカソリンは重慶に比べても数倍してたまらぬもの一つだ。それがこんなに薄山押へられた。

ビルマ・ルートをはじめ援蔣輸血路強化には鐵道敷設が一番効果的だ。そこで重慶では英米その他にレールをうんと注文したのだ。

重慶の食糧不足は深刻を極め、物價騰貴は天井知らずである。しかも當てにした外國からの食糧は前線の通り難押へを食つてゐるのだ。

昨年九月佛印援蔣ルート遮断以來、佛印當局は重慶、昆明、成都等向けの援蔣物資は残らず差押へて保管してゐたが、このほどそれら莫大な數量に上る援蔣物資全部の保管をわが先陸軍當局に委任したい旨を申出たので、わが方は佛印當局の意のある所を汲んでその保管に當ることになつた。



# 隊部 T.O

## ドイツの復興建設隊



⇒ ゲッベルス宣傳相は前線から歸還した隊員を官邸に招待、親しくその勞をねぎらつた

こんどの歐洲大戰にドイツが各方面の戦線に華々しい戦果をあげ、また占領地の復興建設に非常な成功を上げてゐる際にはドイツのO・T部隊の協力が大いに物をいつてゐます

O・T部隊 (Organization Dr. Todt) はトッド博士を指導者とするドイツの復興建設部隊で博士の名をとつてトッド部隊ともいはれてゐます。この部隊は技術家と勤勞者で組織され、つねに第一線につゞく後援部隊として前線に出動、爆破された橋梁、運河、發電所等を急速に修理して輸送路を確保し、荒廢した占領地の機能を復活させて後さらに前線に出動して行くのです。ドイツの電撃戦の成功の一大要素として今度の獨逸戦にもこの部隊が大いに活躍してゐると傳へられます

⇒ 眞二つに爆破された鐵橋も修理調査がすめば直ちに仕事はじめられる



⇒ 橋脚の破損箇所の調査に技術者は潜水服を着て水中にもぐる

⇒ 工兵が急いで築造した簡単なものであり、T部隊が一週間手を入れれば二十年間は使用できるさうだ



⇒ 最前線のすぐ後ろまでO・T部隊は出動するのだから不意に攻撃をうけたり、砲撃や銃撃を食ふことははじめから覚悟してかゝらねばならない『警戒』の標札が無意味に光つてゐる

⇒ 爆破された發電所の修理をする。工事に先立つて技術者は精密な修理計畫をいそぐ

く強よて育  
に爲の國御



内地公定価格  
二・一六  
六・二三

乳粉製調高最産國の的界世價眞

ンゲーロトパ

きめは様兒おとるなにて育おでンゲーロトパ  
進促に正順が育成の格骨つ且りなに夫丈きめ  
本日い強を兒愛て品用代乳母い良。すまれさ  
すてめ務のてしと親そこ事るけ上き築に民國

社會式株業乳治明・造製 會究研食糧・製監



権原神宮の大前に推進の誓ひ

余良市  
余良市 大政翼賛運動の長、推進員の大前は、このほど全国のトップを切つて余良市に開演され、石渡翼賛会事務局長も出席して権原の聖地権原神宮の大前に眞摯な推進の宣誓が行われました

學童の桑皮製履

三重 桑野正次  
三重縣田丸國民学校の児童たちは楽しい夏休もよこに毎日一帯に各養蠶家に出向いて、お国の旗の原料にと桑の皮をばきとり、このほど乾燥桑皮二〇〇頁を作つて桑皮製履の賞をあげました

水害後の勤勞奉仕

茨城 岡田富美也  
さきごろの豪雨で大水害を蒙つた上浦市は約一ヶ月の洪水からこのほど漸く浮び上りました。土浦國民学校の児童たちは夏休の間に市と協力して、管内内外の清掃活動もとり道路その他の消毒清掃に尽力しました

皇族の軍刺奉仕

岡崎 水越雅夫  
大陣の兵隊さんの御苦勞を偲びませうと、岡崎市三島國民学校上級児童百数十名は陸軍の種しい夏休中の敷日間に市内管生川畔で汗びつしよりになつて種を採ひ草刈奉仕を行いました



復習室

本誌からあなたは何を学んでせうか？  
1 満洲事變が勃發してから今年で満何年になりますか（13年）  
2 司法保護とは何かを犯したまなみのこと、裁き者、裁判員のこと、刑を被る人になつてしまつたことを、保護の手をさしよるべからぬこと（6頁）  
3 九月一日から賣渡された金銀細工品に、何れが家族でも納金として作られたものは残らずに供出してしまつたらぬこと（13頁）  
4 現在満洲には一四三六萬町歩の田畑から、開墾されておぼつかぬ田畑となる土地はまだどのくらいあるか（14頁）  
5 カムラン、わが船の運駐した南極の島嶼、レインガの共同利用を考へられる、ハワイにあるアメリカの軍港（15頁）  
6 よく新聞その他に物動計とありありますが、何の物動計でしょうか（16頁）  
7 次の言葉のうち満洲事變に關係のあるものに○をつけて下さい（17頁）  
8 機械工として轉業申したいのすが、何かで技術を短期間に教へてくれるところがあるかどうか（18頁）  
9 O・T部隊とは、バラバラに奇襲する部隊、前線の機嫌を監視し、敵軍の動向を探し出し、復讐の準備をする部隊、第一線に突撃する部隊、復讐部隊（19頁）  
10 満洲の正しい立派な國家として承認した國々は九月三日現在で何ヶ國になりますか（20頁）  
一問十點としてあなたは何點できましたか



★表紙  
國務院大臣として、新與滿洲國成立の原案を及腕に携つてゐる張景惠氏である。再度が國に訪され、たこともあつたので、これには張氏の深い知識、多識、満洲國建設と共に、參謀府議長に就任、爾來内政、軍政上の要職にあり、満洲國の苦しみを経て二年五月國務院の結成後をうけて國務院副大臣に就任した張景惠氏である  
撮影 佐藤市

所	定	價	中
昭和十六年九月十日印刷發行 情報局 東京市神田区 丸の内三ノ二 印刷部 内閣印刷局 東京市神田区大塚町	一部 十 錢	▲郵配送御希望の方は一 部十錢（外國郵便に依る 地域は十九錢）の割合を 以て前金を添へ御申込み 下さい ▲特大號の場合は其の都度 御申込金より差額を申受 けます	内閣印刷局發行課 電話九ノ内（三）五一一九 振替東京一九〇〇〇

寫眞週報 昭和十一年 五月 二十一日 東京芝浦電氣株式會社 芝浦支店 印刷

護れ興亞の兵の家

2  
電球代が  
半分になる



# 新マツダランプ

単コイル電球50燭は約52ワットの消費電力、  
二重コイル新マツダ50燭は42ワットの消費電力、  
一ヶ月1.5キロワット時の電気代経済、  
二ヶ月で電球代④45銭が充分出ます。

内閣印刷局印刷發行

東京芝浦電氣株式會社 マツダ支社

昭和十一年五月二十一日